

2026年度事業計画

1. 青年活動振興事業

1) 第57回北方領土復帰促進婦人・青年交流集会

北方四島の早期返還を求め地域女性団体と協力して現地集会を行う。

期日 2026年7月3日（金）～5日（日）

会場 北海道根室市周辺

2) 第74回全国青年大会

地域青年によるスポーツ・文化の一大祭典として開催する。

期日：2026年11月13日（金）～16日（月）

会場：日本青年館、東京体育館ほか都内施設

3) 2026年度全国地域青年実践大賞

4) 青年団研修会（仮称）

期日：2026年6月中旬ごろ

会場：日本青年館

内容：青年団の歴史や活動を学ぶ場

5) 第71回全国青年問題研究集会（仮称）

期日：2027年3月上旬ごろ

会場：日本青年館

内容：全国まちづくり若者サミットとは別に単独事業として開催する

2. 第73回全国民俗芸能大会

地域で受け継がれてきた民俗芸能を数団体招き上演並びに記録することで保存・振興に寄与する。

2026年11月28日（土） 日本青年館ホール

3. 青年問題研究所

1) 調査研究活動

前年度作成した「若者の地域活動の支援と推進に向けた政策提言」を、地方自治体を中心に関係省庁や政党などへ普及と働きかけを行うことにより、青年団をはじめとする若者集団の自主的な活動の支援につなげていく。また、政策提言の内容の実現に向けた具体的な取り組みに向けて検討していく。

2) 全国まちづくり若者サミット2027

まちづくりに取り組む多様な若者たちを参加対象とする「全国まちづくり若者サミット2027」を若者たちの主体的な関わりにより開催する。

2027年2月13日（土）～14日（日） 日本青年館カンファレンスルーム

3) 若者施策自治体担当者オンライン対話会

教育委員会だけでなく若者参画を担当する様々な自治体職員を対象としたオンライン対話会を年3回程度開催し、政策提言の普及や若者サミットの拡充につなげ自治体との関係づくりを進める。

4) 「未来を担う、青年たちの挑戦×応援プロジェクト」

若者の地域活動を財政的に支援することで新たな活動を始める若者たちを支援する。併せてOB・OG等関係者や若者支援に賛同する方々の寄付も募っていく。

5) SNS「note」の活用

青年団をはじめ多様な青年団体の活動事例を若者サミット等の事業だけでなく若者自身の取材・執筆によりSNS等のオンラインで広げていく。

4. 出版関連事業

1) 月刊誌「社会教育」の発行

今年7月に発行80年を迎える「社会教育」を毎月発行し、社会教育行政職員や研究者に加え社会教育士やNPOなど多様な分野の読者へ社会教育や青年教育の情報を届けていく。

2) オクトーバーラーニング等

既に定期購読していただいている読者や新たな読者層を対象に対面やオンラインによるフォーラム等の学習機会や社会教育士の交流の場を創造していく。

5. 高校オーケストラ活動支援事業

1) 第9回全国高等学校サマーオーケストラ（全日本高等学校オーケストラ連盟と共催）

学校の枠を超えたオーケストラでの合奏を通じて音楽のすばらしさや交流の楽しさを体験する事業として今夏も開催する。

前期	2026年8月11日（火）～14日（金）	山中湖畔荘清溪・ふじさんホール
後期	// 8月15日（土）～18日（火）	山中湖畔荘清溪・ふじさんホール

2) 第33回全国高等学校選抜オーケストラフェスタ

（全日本高等学校オーケストラ連盟と共催）

全国の音楽を愛する高校生たちによるオーケストラ演奏の発表と交流の場として開催する。

2026年12月25日（金）～28日（月）日本青年館ホール

3) 全日本高等学校選抜オーケストラ海外公演2027

（全日本高等学校オーケストラ連盟と共催）

全国から集まった高校生たちが音楽の都ウィーンを訪れウィーンフィル本拠地の楽友協会で演奏を行うとともに、暮らしや歴史・文化を学び参加者同士が交流を深める機会として行う。

2027年3月下旬

オーストリア・ウィーン

6. 図書・資料センター

1) 資料の保存・管理・活用

青年団および日本青年館などに関する図書・資料の書棚整理と資料のデジタル化による保存・管理を進める。また、多様な研究者やメディア等による利用に対応していく。前年度、検索可能なデータとして公開を始めた戦前の「地域青年団報」を多様な分野の研究者や自治体史編纂担当者等に周知することで日本青年館所蔵の資料財産の活用を進める。

2) 活用に向けたデジタル化

既にデータ保存している戦前の「日本青年新聞」やVHS形式の民俗芸能映像、劣化の進む「日青ニュース」などの保存・公開に向けたデジタル化に継続的に取り組む。

7. 第31回清溪セミナー（清溪セミナー実行委員会と共催）

地方議員による地方議員のためのセミナーとして実行委員会制により開催する。今年は「教育」を主なテーマにしていく。

2026年10月予定 日本青年館カンファレンスルーム

8. 田澤義鋪記念会

田澤義鋪の功績を顕彰するため記念会を運営し下記に取り組む。

1) 総会 2026年11月予定 日本青年館、明治神宮

2) 「田澤通信」の発行

3) 日本青年団協議会顕彰制度への特別賞の提供

9. 国際交流

1) 中日青年交流センターとの交流

コロナによって中断している相互交流の今後の在り方について協議を行う。

2) 韓国青少年団体協議会との交流

日韓の青少年活動の現状と課題を共有し双方の活動から学び合う。2026年度は5名を受け入れる。

10. その他

1) 全国青年団OB会第44回総会・岡山大会

青年団OB・OGの親睦と交流を推進し現役青年団支援の機運を高めることを目指して全国青年団OB会と連携して開催する。

期日：2026年10月4日（日）～5日（月）

会場：岡山県倉敷市「倉敷アイビースクエア」

2) 清溪フォーラム

未定

以 上